

日本移民学会第21回大会におけるラウンドテーブル公募について

2010年12月27日

2011年6月25日（土）、26日（日）にJICA横浜で開催予定の日本移民学会第21回年次大会において、ラウンドテーブル（2日目午後を予定）を下記の要領で募集いたします。ふるってご応募ください。

■**テーマ**：ラウンドテーブル「戦後移住地の展開と現状」

■**内容**：日本における移民研究には、戦前の移民史や近年のデカセギに関するものが多い。一方で、戦後に海外に渡航し、いわゆる「新一世」になった移民についての研究は十分に行われているとは言い難い。

ボリビアのコロニア・オキナワやブラジルのコチア青年、パラグアイの戦後移民などの南米を中心とした戦後移民が、戦前移民とどのような点で異なるのか、また、現地社会において戦前移民や現地社会との関係をどのように構築してきたのかなどの視点からの話題提供と議論の場としたい。

■**構成**：司会・モデレーター 1名、発表者2～3名

■**時間**：90分

（内、話題提供としての発表に45分、フロアーとの意見交換に45分）

●**募集期間**：2月1日～2月28日

●**採用件数**：1件

●**提出書類**：別紙「ラウンドテーブル応募用紙」に必要事項を記入の上、大会事務局宛にファックス(04-2947-6789)で提出。

日本移民学会第 21 回年次大会

ラウンドテーブル応募用紙

①発表タイトル
②司会・モデレーター（氏名：所属）
③発表者（氏名・所属） A B C
④発表内容